

でいる。

〈執行部回答後の議員意見〉

放課後等デイサービスの利用、こども医療費等毎年必ず大きな額の補正が出ている。原因や現状実態把握を行い本来に必要な額の予算が通るような仕組みが必要である。

健康増進事業費、ウォーキング啓発チラシはどのようなものか。フリーングシエルターののぼり旗がなぜ今必要か。債務負担がかけられているが企画内容は検討されたのか。

今年度新たなウォーキングコースを菊川地域と小笠地域の2カ所に設定する。この2コースのウォーキングマップとウォーキングの効果や歩き方などを掲載した啓発チラシは、市制20周年記念事業「ぎくがわ健康フェスタ」におけるウォーキングブースや、今後開催する健診後の健康教育室や保健指導、市民への健康

教育の場、出張健康相談事業等のイベントなどで配布し、ウォーキングの啓発を図り健康づくりにつなげていく。フリーングシエルターののぼり旗は、令和7年度当初予算で計上する予定であったが、令和6年度に明治安田生命保険相互会社からの寄附金でフリーングシエルターが設置されていると市民に分かるような、のぼり旗を作成し、次年度以降に活用していく。債務負担行為の企画内容の検討対象事業は、健康マイレージシートの印刷業務である。健康マイレージ事業は、新規参加者の増加や青年期・壮年期の世代における取組者の増加につなげることが課題となっており、令和7年度は新たな参加者を取り込むため、キッズチャレンジシートを作成し、子どもとその親世代と一緒に取り組めるような参加方法や市内企業への呼びかけを行い、働く世代への取組が増加する

ように計画をしている。今後、

事業を協力している関係課とも調整を行いながら、多くの人に参加していただけるよう次年度の準備をしていく。

〈執行部回答後の議員意見〉

事業評価で、子どもと一緒にやってみたらどうかなど議員からの提案もかなり加味していることもあり、事業評価をやった意味が大きいと思う。今後もこういう形で一つずつ改善していければいいのではないか。



給食センター管理費、修繕が必要となった箇所、修繕内容の必要性は。計画的な修繕はできないのか。

今回3カ所の修繕が必要となった。恒温恒湿庫壁パネルの修繕、食器洗浄機タッチパネルの修繕、プレハブ冷凍庫搬送ファンモーターの修繕である。この3カ所は、突発的というよりも前から機器が大分古く、不具合があった為、今回計画的に修繕をした。

〈執行部回答後の議員意見〉

実施計画と財政計画をすり合わせていく計画でないと本当に困ったときに急いでやるということになる。施設・設備は何年に補修で何やった、そこからどの位で交換補修が必要になると予測できるような、職員が変わっても見られるようなカルテ的なものが必要である。